

平成 30 年予算決算委員会会議録

1. 招集年月日 平成 30 年 5 月 28 日
2. 招集の場所 可児市役所全員協議会室
3. 開 会 平成 30 年 5 月 28 日 午前 10 時 28 分 委員長宣告

4. 審査事項

審査事件名

議案第 35 号 平成 30 年度可児市一般会計補正予算（第 1 号）について

5. 出席委員（20 名）

委 員 長	澤 野 伸	副 委 員 長	天 羽 良 明
委 員	林 則 夫	委 員	可 児 慶 志
委 員	亀 谷 光	委 員	富 田 牧 子
委 員	伊 藤 健 二	委 員	中 村 悟
委 員	山 根 一 男	委 員	山 田 喜 弘
委 員	川 合 敏 己	委 員	野 呂 和 久
委 員	勝 野 正 規	委 員	板 津 博 之
委 員	伊 藤 壽	委 員	出 口 忠 雄
委 員	渡 辺 仁 美	委 員	高 木 将 延
委 員	田 原 理 香	委 員	大 平 伸 二

6. 欠席委員 なし

7. その他出席した者

議 長 川 上 文 浩

8. 説明のため出席した者の職氏名

企 画 部 長 牛 江 宏 総合政策課長 瀬 瀬 新 吾

9. 職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	田 上 元 一	議会事務局 議会総務課長	梅 田 浩 二
議会事務局 書記	松 倉 良 典	議会事務局 書記	林 桂 太郎

○委員長（澤野 伸君） それでは本会議に引き続きまして、予算決算委員会を開きたいと思
います。

定足数に達しておりますので、ただいまから予算決算委員会を開会いたします。

発言される方は、委員の方も執行部の方も挙手をして、委員長の許可を得てから、お願い
をいたします。また、マイクのスイッチを入れてからお話しを願います。

それでは、議案第 35 号 平成 30 年度可児市一般会計補正予算（第 1 号）について、審査
のために参考人を招致することについてを議題といたします。

今回の補正予算案における、岐阜医療科学大学開設支援事業の繰越明許費の補正について、
本日は参考人の意見を聞くかどうかを決定いたしたいと存じます。

これにつきまして、御意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。どうぞ。

御意見等よろしいでしょうか。

○委員（富田牧子君） 済みません。先般、いろいろ聞いたんですけど、私はとっても気にな
っていたところが、場所を可児のところにしたのでたくさん来たというふうな文言があり
まして、ところが今、全国の私立の大学で、定員がかなりオーバーしているの、それをも
っとぎゅっと縮めようというか、削減するという動きがあって、そういうそれはもっと大変
大きな大学の話なので、直接関係するかどうかというのは、私はちょっとわからないわけ
ですけど、例えば、大きな私立大学で、前はとっていたけれど、とらなくなった、それだけ人
数を削減したということの影響でもってずうっと岐阜医療科学大学へ、ちょっと人数が多く
来たんじゃないかということがすごく気になっているんです。ということと、本当に薬学部
をやって、ちゃんとできるのか。途中で撤退しないのかとか、何かそこら辺がやっぱり大き
な問題だと思うんですね。だから、今度はもっと突っ込んでいろいろ聞きたいというふう
に思うんですけど。

○委員長（澤野 伸君） 他に、御発言は。

○委員（山田喜弘君） ぜひ参考人を呼んでいただいて、この 18 億円の問題を含めて、今の
経営状況とか、経営の影響等をきちんと説明していただけるようお願いしたいというふう
に思います。

○委員長（澤野 伸君） 他に御発言は。

○委員（大平伸二君） 私は現在のところ、参考人招致は前回しっかり説明を受けていますの
で、どういう状況かということがありますので、まだ 18 億円どういうふうに扱うというこ
ともまだ議会の中でも決定していかない中で、今呼ぶ必要があるのかなあという疑問を持っ
ています。ということは、やっぱり大学側は経営学的というのか行動経営学というのかなあ、
自分ところの懐を全部さらけ出して、助けてくださいと言ってみえると思うんですけど、そ
の状況の中で今現在呼んで、どこまでお話を伺えるのかなあと思っていますので、今の状況
で参考人招致は必要ないのかなあと思っています。以上です。

○委員長（澤野 伸君） 他に御発言は。よろしいですか。

○委員（伊藤健二君） 今、大平委員から呼ぶ必要はない、あんまり何も変わっていないという話がありました、それは全く視点が違うんじゃないかというふうに私は思います。

まず、約束であった薬学部の新設への第1アプローチ、すなわち文部科学省への申請が当然出て、初めてこの18億円がお役に立てるという前提なんです、その前提がまだ担保されていません。つまり、それが担保されるべき時期に担保のほうへ入らずに申請がされていなかった、その理由はいろいろ御存じのとおりですので繰り返しません、そういうことという、明らかに事態は変更されている。

その変更の中身は、今の時点では薬学部がこの現瞬間で言うと、改正される見込みはありませんので、しかしそれを可児市長に対して、理事長のほうでこのまま1年おくれてでも、薬学部の新設は実現させてみせませすということで、そういう理事会の意向を表明された、だから18億円を助成してほしいということを書いてみえたので、それを受けて可児市としては、今期この議案でというように、繰越明許で1年ずらそうという判断を執行部としてはもう立てられたということですが、それが本当に適正なものなのか、新たに検証すべき点はないのかについてはここで今聞かないと、もう検証するときに失われると私は思います。

そういう点で検証すべきだということで、先ほど誰かが言われた経営的影響、新たな時代に対して、既に本部ビルを売られるとかいう話も出ていますし、そうしたものによって額が動いているわけですね。次回それはどういうふうに影響するのかわからないのか、そこもはっきり聞いた上で、減額し得るものなら減額すべきじゃないかという意見もあるかもしれないし、そういうことも含めてきちっとお聞きしたいと思いますので、必要だと思います。

○委員長（澤野 伸君） 他に。

○議長（川上文浩君） 議案として本日提出されましたので、この議会の中で繰越明許費の判断をしていただくとか、補正予算と一体となっておりますので、これは議会としては判断していくということになります。

それともう一点は、前回の議会全員協議会の中で皆さん方から出た、いろんな足らずまへの資料、財務諸表であったり、経営状況であったり、今後の予定等々、これは議会のほうから要求されていますので、大学とのやりとりをしています、大学側とするとそれを説明する場がどうしても要りますので、執行部ではできません。その学園のあそこの大学の関係の全て、ほかの大学もあるものですから、神野学園としての財務状況、それから見通し、そういうものは大学側からしか説明できないので、逆に呼んでいただかないとその辺のところは一切、執行部からは説明が触れにくい部分になるので、大学からもこれは出席して、説明を述べたいということは意思として強く持っておられますので、そういったことも勘案しながら委員会で決定していただければというふうに思っておりますし、資料のほうも私チェックしましたが、まだまだ足らずまへがあれば、もっともつとということになるわけですが、大学側から提出していく、当日配付の当日回収ということになると思いますけれども、やはり財務状況については公表できない部分もありますし、6月の終わりじゃないと平成29年度の神野学園のあれは公にされないものですから、まだ理事会も通っていないという

ことになってくると、なかなかそのところは公表できない部分がある。ただ、それがないとやはり、審議できないということであれば、それはしっかりと、出していただいて審議していくということになるので、そういう意味でもぜひ御考慮いただければというふうに思います。

○委員長（澤野 伸君） それでは、採決に入ってもよろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

これより、岐阜医療科学大学開設支援事業の繰越明許費の補正について、参考人を招致する件について、採決を行います。

挙手により採決をいたします。

招致に賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

ありがとうございます。

賛成多数であります。よって、参考人を招致することに決定いたしました。

それでは、可児市議会委員会条例第 28 条に基づき、議長を経て参考人へ通知を行い、6 月 12 日火曜日に、本委員会の参考人として意見を聞くことといたします。

○議長（川上文浩君） 事務局に命じまして、どういった資料を出してくるのかということと事前に皆さん方に通知したいと思っています。それとその内容について、もし足りないともっとほかの分が欲しいというのであれば、用意できるものであれば、大学側に用意して提出させていただくように、予算決算委員会の前までにしっかりとした資料をそろえて臨んでいくと。

これがまた開くことはできるんですけども、なかなかそう何度も何度も委員会を開くというわけにはいかないもので、極力皆さん方の御要望に沿うような資料をしっかりと提出して、大学側から説明するというのでしたいと思いますので、何かあれば事務局のほうまで言っていただければと思うので、事務局はその旨よろしくお願ひしたいと思います。以上です。

○委員長（澤野 伸君） よろしいでしょうか。何かありますか。

○委員（大平伸二君） 今、事前に書類を出しますということだったよね。

○議長（川上文浩君） どんな書類が出るかということは、お通知できるんですけども、当日配付の回収というような公表できないものもたくさんあるので、内容については当日まではちょっと無理。見せられるものであればオーケーが出ますけれども、済みませんがよろしくお願ひしたいと思います。

○委員長（澤野 伸君） よろしいですか、この件については。

〔挙手する者なし〕

もう一点ちょっと議題には載せてございませんが、私からちょっと御提案を申し上げたいと思います。

平成 30 年度可児市の一般会計で、300 万円の組み替えということでの修正を可決がされました。観光費に 300 万円異動させた部分について、これまでの経過報告を議案の前に、報

告を一括で受けたいというふうに思っております。

この件について、もし御了解いただければそのように執行部に申し出て、これまでの経過を報告もらうということをしていきたいというふうに思いますが、よろしいでしょうか。

○委員（伊藤健二君） その件にかかわって、補足を求めたいと思いますが、商工会議所の常代会と言うのかな、代議員のような会合がございますね。あそこで何か4月24日あたりで議決を何かされておるんですよ。協議会に入って、しっかりと物言って、観光交流をより促進できるようにしていきましょうという、決意表明のようなことがやられている。そういう関連した団体のそういう資料もついでに出していただいて、たまたま私、商工会議所の会頭から個人的にお示しいたげて、もらったので知っていますが、商工会、あるいは観光協会がいろいろと出していますね。

○議長（川上文浩君） 済みません。あの議会運営委員会に出した要望書以外に、ほかに何か要望されるという。

〔「観光協会」の声あり〕

観光協会も商工会議所も要望書は議会運営委員会で提出しておりますけど、それでいい、ほかにもいい何か。要るんであれば私のほうからまた言って用意しますので。

〔発言する者あり〕

要望書をですね、議長宛ての要望書が出ておりますので。

〔「議長宛ての要望書の前に内部でつくられた文書」の声あり〕

それは、もしあればということでもよろしいですか。私も商工会議所の議員ですけど、手元にはないので。報告は受けてないので、済みません。じゃあ確認だけしてみます。

○委員長（澤野 伸君） この件については、予算措置をどのようにここまで検討されたかということ聞いてまいります。また、今議題になっている部分については、議会運営委員会のほうで要望書が提出されておりますので、またそちらの方でもお願いしたいということと、また関連性があれば資料もちょっといただきたいということで、今御要望がありましたので、一度ちょっと確認のほどお願いいたします。

他に御発言よろしいでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」の声あり〕

それでは、これにて予算決算委員会を終了いたします。

次回は6月12日火曜日、午前9時から全員協議会室にて委員会を開催いたします。

それでは、お疲れさまでございました。

閉会 午前10時42分

前記のとおり会議の次第を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成 30 年 5 月 28 日

可児市予算決算委員会委員長